

狛江市 ごみ半減新聞

K O M A E

Vol.48 平成25年10月

発行 狛江市建設環境部清掃課
〒201-0004 狛江市岩戸北1-1-11
狛江市ビン・缶リサイクルセンター内
☎03-3488-5300(直通)

対象品目表(15品目)

①	携帯電話(PHS端末含む)
②	タブレット型情報通信端末
③	パソコン(ノート型)
④	デジタルカメラ
⑤	ビデオカメラ(ポータブルビデオカメラ)
⑥	ゲーム機(携帯型・据置型)
⑦	デジタル等携帯音楽プレーヤー(CD・MDプレーヤー含む)
⑧	携帯型映像用機器(ポータブルDVDプレーヤー含む)
⑨	電子辞書
⑩	携帯型ラジオ
⑪	ポータブルカーナビ
⑫	ETCユニット
⑬	ICレコーダー
⑭	電卓
⑮	補助記憶装置(USBメモリ・メモリーカードなど)

無料

使用済小型家電の実験回収を行います

平成25年4月1日から、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)」が施行され、使用済小型家電に含まれる鉄・アルミ・銅・貴金属・レアメタルなど有用な金属の再資源化に向けた新しい制度がスタートしています。狛江市では6月9日(日)に環境月間行事の一環として使用済小型家電の実験回収を行いました。今回も引き続き、市内でどのような品目が排出されているか調査するため、次の2つの実験回収を行うとともに福祉作業所と連携した分解・分別作業の実証実験を実施します。

第2回イベント実験回収

くらしフェスタこまえ(第40回狛江市みんなの消費生活展)に合わせて使用済小型家電の実験回収(無料)を実施します。今回は、特に対象品目表の15品目について排出数量を調査していきます。なお、使用済小型家電の回収の際には、アンケートを配布しますので調査にご協力をお願いします。

●実施日時

平成25年11月2日(土)午前10時から午後2時まで
くらしフェスタこまえ(第40回狛江市みんなの消費生活展)内

●実施場所

「市役所前市民ひろば」にて受付
・ご自身で、受付窓口までお持ちください。
・携帯電話等の個人情報情報は必ず消去してお持ちください。
・乾電池や蛍光灯は、取り外して有害ごみとして通常の収集日にお出しください。

●回収できるもの

家庭で使用していた家電製品

●回収できないもの

- ・家電リサイクル法対象商品(テレビ・エアコン・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機)
 - ・主に繊維製の家電製品(電気カーペット・電気毛布など)
 - ・主に木製の家電製品(コタツ・木製枠のスピーカーなど)
 - ・事業で使用していた家電製品
- ※また、これ以外にも回収できない家電製品もありますので、詳しくは清掃課にお問い合わせください。

●対象者

市民でアンケート調査に協力いただける方

●次のイベント回収の予定

次回は、平成26年3月頃を予定しています。なお、詳細については次回のごみ半減新聞をご覧ください。

窓口での実験回収

資源性と分別のしやすさから、特にリサイクルすべき品目として国が推奨している特定対象品目のうち、対象品目表の15品目について清掃課窓口にて実験回収(無料)を実施します。使用済小型家電のリサイクルについて皆さまのご協力をお願いします。

●実施期間

平成25年11月1日(金)から平成26年3月31日(月)まで

●実施時間

平日 午前8時30分から午後5時まで
(土・日曜日、祝日と12月28日から1月5日は除く)

●実施場所

狛江市ビン・缶リサイクルセンター内 清掃課
※ご自身で清掃課窓口までお持ちください。
携帯電話等の個人情報情報は必ず消去してお持ちください。

●回収できるもの

上記対象品目表の15品目のうち、
縦15センチ、横30センチの投入口に入るもの。

●回収できないもの

- ・付属品等(リモコン・ACアダプタ・ケーブル・充電器など)
- ・その他、ご不明な点は清掃課にお問い合わせください。

●対象者

市民

福祉作業所における分解・分別作業実証実験

市内2か所の福祉作業所と連携して実証実験を行います。窓口やイベントで回収した対象品目である携帯電話、デジタルカメラ等を福祉作業所において手作業で丁寧に分解し、基板、鉄、アルミやプラスチックなどに分別した後、リサイクル業者に引き渡し再資源化します。実証実験については、11月頃から実施を予定しています。



アンケート結果

◎アンケート回収数 922枚
◎回収量合計 12,060kg ◎資源化量及び率 11,107kg 92.1%

■小型家電品目別の数量(アンケート結果より)

No.	品目名	回答件数
1	携帯電話端末・PHS端末・パソコン	200
2	プリンター	160
3	音響機器(音楽プレーヤー)	142
4	映像用機器(DVDプレーヤー等)	136
5	電話機・ファクシミリ	59
6	デジタルカメラ・ビデオカメラ・フィルムカメラ	52
7	ラジオ	48
8	付属品(リモコン・ACアダプター等)	42
9	理容用機器(ドライヤー等)	35
10	ゲーム機	26
11	補助記憶装置(HDドライブ等)	18
12	時計	16
13	懐中電灯	10
14	カー用品(カーナビ等)	9
15	電子辞書・電卓	8
16	電子血圧計・電子体温計	5
17	電子書籍端末	3
18	その他※	562

※「その他」の内訳
掃除機131、扇風機86、炊飯器76、照明器具50、電子レンジ34、電気ストーブ34、その他151

■資源化内訳用(推計量)

種類	重量(kg)	割合(%)
資源	金属類	6,874 57.0
	プラスチック	4,233 35.1
	資源化量及び率	11,107 92.1
ごみ	ダスト類(ちり、ほこり)	953 7.9
	回収量合計及び率	12,060 100

当日の様子



～受付～



～回収したものの一部～



～トラックへの積み込み～

使用済小型家電の再資源化に向けて今後の参考とするため、平成25年6月9日(日)に「使用済小型家電の実験回収」を実施しました。当日は、わずか4時間でトラック6台(約12t)の家電製品が集まりました。これは約半月分の粗大ごみと同じ量になります。多くの皆さまにご協力をいただきありがとうございました。

当日、実施したアンケート結果についてお知らせします。なお、資源化量については、狛江市以外の小型家電も一緒に処理しているため、処理量全体から推計した重量となります。

前回の使用済小型家電の実験回収ではなんと!! 12トンも回収されました

ごみは戸別収集です

狛江市では、ごみの戸別収集を行っています。これは、ごみを出す方一人ひとりが責任を持ってごみを出すことでごみに対して関心を持ち、ごみ減量につなげることを目的としています。

一部自然発生的に残っているステーションについては、順次戸別収集に変更しています。また、実際にステーションとなっていてお困りの方がいらしゃいましたら、清掃課までご連絡ください。

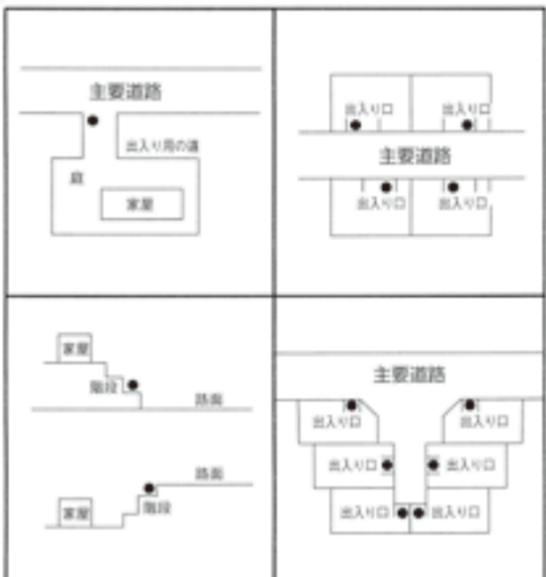
●ごみの出し方

【一戸建て住宅の場合】

道路に面した敷地内で収集しやすい場所に1箇所にまとめて出してください。

【集合住宅の場合】

集合住宅の敷地内の決められたごみ集積所に出してください。



指定収集袋もごみ減量でCO₂削減!
〜ロール幅が小さくなります〜

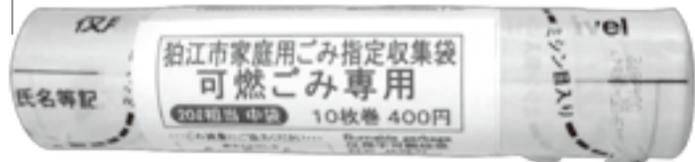
指定収集袋は10枚1組での販売となつていますが、今回、省資源化と輸送効率を向上するため、指定収集袋の折り方を工夫することでロール幅を縮小しました。このため、見た目では小さく見えますが、袋の容量に変更はありません。

これにより、配送時に使用するダンボールを小型化することができ、輸送効率が良くなりました。

平成24年度実績で換算するとダンボールが年間70キログラム以上削減され、配送車から排出される二酸化炭素量も削減となります。

現在作成されている在庫がなくなり次第、順次新たな形のものに切り替えていきます。

この幅が変更になります。



	ロール幅(mm)	
	現行	変更後
可燃 中 20 L	210	195
可燃 大 40 L	270	250
不燃 中 20 L	210	195
不燃 大 40 L	270	250
事業 可燃 30	210	195
事業 可燃 45	270	250
事業 不燃 30	210	195
事業 不燃 45	270	250

クリーンセンター多摩川へ行ってみよう!! 〜ごみ処理の流れを見てみませんか〜

毎日生活する中で出ている狛江市のごみは、稲城市にあるクリーンセンター多摩川で処理しています。

この施設は、ごみを処理するだけではなく、燃やす時に発生する熱エネルギーを利用して蒸気等をつくり、発電等を行い、環境への負担を減らしています。

また、残った灰(塵)を溶かしたものを使ってコンクリート製品等に活用しています。

その他にもごみの中から鉄やアルミなどの資源を回収しています。これらの処理を実際に見てみませんか?個人での見学もできますので、直接お問い合わせください。

申し込み方法等

【見学日】事前に予約が必要です。

平日 午前9時から午後3時まで

(土・日曜日、祝日と12月28日から1月5日は除く)

【申し込み】

2ヶ月前から受付。団体(個人でも対応します)。事前に電話でお問い合わせください。

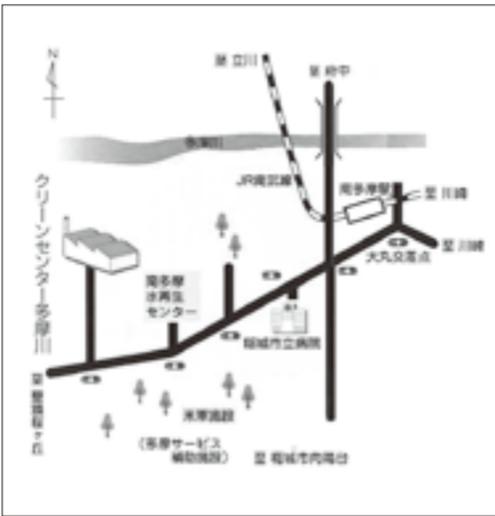
【問い合わせ先】

東京都稲城市大丸1528番地
多摩川衛生組合総務課総務係

【電話】042-377-3601

【交通アクセス】

JR南武線「南多摩駅」から徒歩約25分。
バスでのアクセスはありません。



約2.5tをひとつかみ!



燃やせるごみが1日約350トン集まります

ごみは収集日当日の朝に出して 住みよい街にしましょう

狛江市では、どの地域の方にも、ごみ収集日の午前8時までに出していただいています。収集時間は、道路状況やごみの量などによって一定ではありません。また、集合住宅の場合は、敷地内に専用のごみ置場を設置していただいています。ごみ置場があるからといって収集日以外の日にごみや資源物を出すのはルール違反です。

日常的にごみをためおくことは不衛生であるばかりか、不法投棄を誘発する原因にもなります。

ごみを出す人のモラルが一番の問題ですが、管理者や所有者からの適切な指導を行っていただくようにご協力をお願いします。

皆でやれば効率アップ!

ペットボトルのふたは外してコンテナへ

ビン・缶リサイクルセンターでは、毎日たくさんさんのビンや缶、ペットボトルを中間処理しています。ペットボトルは、圧縮処理していますが、ふたがついているとつぶすことができないため、一つひとつ手で外して処理しています。

「ふたを外すのが面倒」「自分だけならいいか」と、ふたをつけたまま出したペットボトルが集まると何百本にもなってしまう、これを毎日手で外す作業が必要となります。皆さま一人ひとりのご協力をお願いします。

また、ペットボトルはボトルを作るときにも処理するときにも環境に大きな負担がかかっています。お気に入りのマイボトルを使うなど、ペットボトルの排出量の減量にもご協力をお願いします。



困ります

ふたは外し
コンテナへ

ラベル(燃やせる
ごみ)をはずし

軽く水洗いし
つぶしてコンテナへ



更なるごみ減量にご協力を!!

平成24年度清掃概要が完成しました!!

平成17年10月から、ごみ処理経費を負担することによって、ごみについての意識を持っていただき、ごみ減量につなげることを目的として、燃やせるごみ・燃やせないごみの指定収集袋による有料化を実施しました。

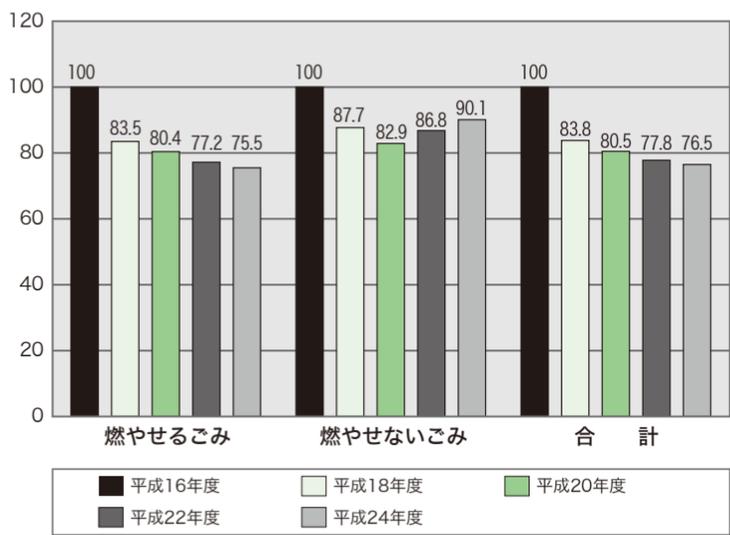
これにより、今まで以上のごみ減量を達成し、以降着実にごみの減量が継続しています。今後も更なるごみ減量に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

しかし、このところ燃やせないごみ等の排出量が増加傾向となっており、そのため、新たなごみ減量方法として、使用済小型家電の資源化について、様々な検討を行っています。皆さまにごみ減量にご協力いただくと同時に、市としてもごみ減量に取り組んでまいります。

狛江市では、市内でごみを処理することができないため、稲城市にあるクリーンセンター多摩川で焼却し、焼却後に残った塵を日の出町にある東京たま広域資源循環組合でエコセメントとしてリサイクルしていただいております。

ごみを処理するためには、狛江市以外の地域にご協力いただいております。また多額の費用もかかっています。ごみ減量に終わりはありません。今後ともご協力をお願いいたします。

ごみ収集量の推移 (平成16年度を100とする)



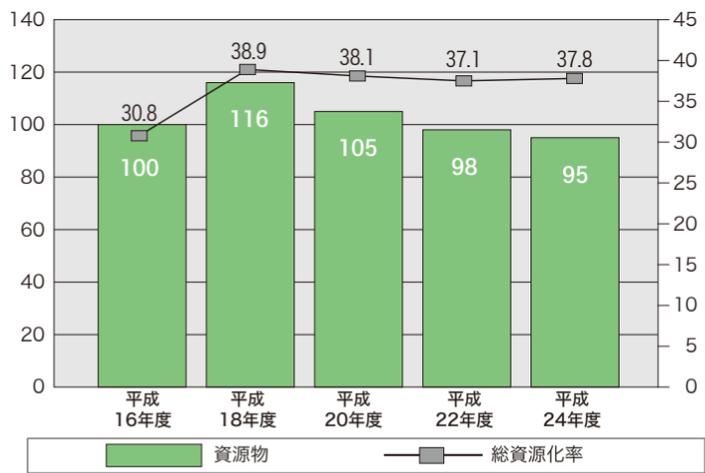
(単位:t)

	燃やせるごみ	燃やせないごみ	合計
平成16年度	15,684	1,120	16,804
平成18年度	13,099	982	14,081
平成20年度	12,606	929	13,535
平成22年度	12,105	972	13,077
平成24年度	11,843	1,009	12,852

清掃概要をご覧ください

清掃概要は、これまでのごみ処理のあゆみや、ごみ処理費用、ごみや資源物の収集量等、狛江市のごみ処理をまとめた冊子です。清掃課等で1部40円で販売しているほか、狛江市ホームページからもダウンロードすることができます。ぜひご覧ください。

資源物収集量の推移 (平成16年度を100とする)



	資源 (t)	総資源化量 (t)	総資源化率 (%)
平成16年度	4,537	8,023	30.8
平成18年度	5,249	9,302	38.9
平成20年度	4,784	8,722	38.1
平成22年度	4,465	7,967	37.1
平成24年度	4,325	7,834	37.8

ごみ減量による地球にやさしく

ごみとして処理するにしても、リサイクルしても環境に負担をかけ、多額の費用がかかることには変わりありません。地球上にある資源には限りがあります。これを次の世代に引き継ぐために一人ひとりができることをやることが必要です。

POINT 1 断る

ごみを増やさないために、不要なものはもらわないよう、断る勇気も必要です。



本のカバーや不要な包装は断る。



買い物をするときは、ビニール袋ではなく持参した袋(マイバック)を利用する。

POINT 2 選ぶ

ごみが余分に増えないように用途を考えて、ものを選びましょう。



トレイにバックされた商品より、ばら売りの商品を選ぶ。



洗剤、調味料、ボールペンなどは詰め替えのきく商品を選ぶ。

POINT 3 調べる

修理がしやすいか等、長く使えるか調べましょう。

長く使いたいと思えるもので丈夫な商品か調べる。



POINT 4 捨てない

「もったいない」と思う心を大切に、捨てない工夫をしましょう。

作りすぎた料理は近所におすそわけしたり、冷凍庫でフリージングする。



●ごみ減量のための4R運動に取り組みましょう

- Refuse (リフューズ)** とは、ごみになるものを買わない、断ること。
- Reduce (リデュース)** とは、ごみの量を減らすこと。
- Reuse (リユース)** とは、使ったものを廃棄せずに、そのまま使うこと。
- Recycle (リサイクル)** とは、使用後廃棄せず再度資源として利用すること。
リサイクルするためには多くのエネルギーと多額の費用を要します。